

シリーズ

名演探訪 ～日本の合唱

5 「ふるさとの四季」

早川 功

令和5年(2023) 2月28日

click [Isao Hayakawa 集まれ合唱!](#)
facebook公開グループ「集まれ合唱！」
に連載したものをまとめました

2年前の2月15日、声楽・合唱の伴奏ピアニストとして活躍された久邇之宜さんが逝去されました。

私にとっても学生時代初めて公式に指揮をした時のピアニストであり、その後も長い間公私ともにお世話になりっぱなしの先生でもありました。そういう思いを今も持っている合唱人は数多くいることでしょう。

ここで彼の伴奏した作品の一つ聴いてみたいと思います。

作・編曲家、源田俊一郎の手になる唱歌メドレー「ふるさとの四季」。合唱は青森の根城中学校、指揮は北村協一で1992年に東芝EMIで正規録音されたものです。

根城中学校は80年代、現在尚美学園の名誉教授である竹内秀雄氏が奉職中にNHK、全日本の合唱コンクール中学校部門で敵なしの実績を誇っていました。特に85年、ドイツで開かれた世界アマチュア合唱コンクールに参加、童声部門でウィーン少年合唱団を抑えて第2位に入賞したことはニュースになったと記憶しています。

女声合唱のための唱歌メドレー

「ふるさとの四季」

編曲：源田俊一郎

指揮：北村協一

ピアノ：久邇之宜

合唱：八戸市立根城中学校



<https://www.youtube.com/watch?v=9iFVoeK7UJU>

長く歌い継がれた民謡や童謡が合唱音楽の基盤の一つであることはブラームスやコダーイの例を出すまでも無いでしょう。この源田編によるメドレーはその簡潔さと卓越した各曲の繋がり、そして最後に戻ってくる「ふるさと」のノスタルジックな感動で、同声版、混声版を問わず日本中で歌われる名品となりました。

北村先生に導かれた根城の中学生の歌は、子供の合唱の域を超えて普遍的な日本の歌の素晴らしさを改めて感じさせてくれるものです。そしてそれを支え、光らせる久邇さんの優しく美しいタッチのピアノがあることがこの名演の条件であったと改めて感じ入るのです。

【シリーズ バックナンバー】

- ▶ 1 男声合唱組曲「枯れ木と太陽の歌」
- ▶ 2 男声合唱組曲「月光とピエロ」
- ▶ 3 男声合唱組曲「柳河風俗詩」
- ▶ 4 女声合唱組曲「美しい訣れの朝」
- ▶ 5 女声合唱のための唱歌メドレー「ふるさとの四季」
- ▶ 6 混声合唱組曲「嫁ぐ娘に」
- ▶ 7 混声合唱、ヴィブラフォン、ピアノのための「動物の受難」
- ▶ 8 混声合唱組曲「島よ」
- ▶ 9 男声合唱組曲「水のいのち」
- ▶ 10 男声合唱のためのカンタータ「土の歌」

[Back](#)

[音楽・合唱TOPへ](#)

[Home](#)

[HOME PAGEへ](#)